

Calendar

■ 休館日 ■ コレクション展ガイドツアー

*詳しい日程・内容についてはお問い合わせください。

*予告なく変更になる場合があります。

*最新情報は随時SNSでお知らせします。

4

'24

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

5

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

7

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

9

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

10

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

11

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

12

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

'25

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3

日	月	火	水	木	金	土
					1	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

教育普及プログラムのご紹介

◆コレクション展ガイドツアー

特別展・企画展会期中および5月・11月をのぞく毎月第2木曜日と5月3日(祝)・11月3日(祝)午後2時から、学芸員がコレクション展(常設展)の解説を行います。

※参加無料(要観覧券)、事前申込不要

◆せつこっくクラブ

こども向けのワークショップなどを行います。

◆美術の学校

アーティストや美術史の専門家などを講師に招き、ワークショップ形式や講義形式の美術教室を開催します。



公式キャラクター
せつちゃん

ご利用案内

◆開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

◆観覧料 特別展・企画展...その都度定めます。チラシ等をご覧ください。

コレクション展(常設展) 一般320円 高大生210円 中学生以下無料

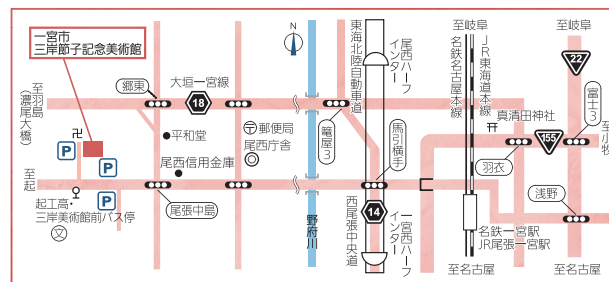
※20名以上の団体は2割引

※一宮市内在住の満65歳以上で住所・年齢を確認できる公的機関発行の証明書等を提示された方、身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳(ミライロID可)を持参の方(付添人1人を含む)は無料

常設展示年間観覧券(コレクション展年間パスポート) 一般640円 高大生420円

コレクション展(常設展)にかぎり、何度でもご覧いただくことができます。(発行日から1年有効)

◆交通案内 公共交通機関...JR尾張一宮駅・名鉄一宮駅下車、名鉄バスターミナル②番のりば「起(おこし)」行で約15分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩1分



自動車利用

大阪方面▶名神高速道路 岐阜羽島ICより約15分
東京方面▶名神高速道路 岐阜羽島ICより約10分
北陸方面▶東海北陸自動車道 尾西ICより約10分
*無料駐車場完備(42台)

一宮市三岸節子記念美術館
https://s-migishi.com

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南3147-1
TEL: 0586-63-2892 FAX: 0586-63-2893

f @s.migishi.museum i @s.migishi.museum X @s_migishi_muse



三岸節子《太陽讃歌(山はくれない)》1969年 ©MIGISHI

ミュージアムカレンダー
2024.4-2025.3

一宮市
三岸節子
記念美術館
ICHINOMIYA CITY
MEMORIAL ART MUSEUM
OF SETSUKO MIGISHI

7月13日(土) 9月1日(日)

企画展「奥田元宋・小由女ふたりの美術館」

広島県三次市に所在する奥田元宋・小由女美術館は、日本画家・奥田元宋(1912～2003)と人形作家・奥田小由女(1936～)の日本でも例を見ない夫妻の名を冠した美術館です。本展では、その所蔵作品により、日本画と人形、異なる世界に生きながらも人生を共に歩んだ、2人の芸術家の生涯に渡る作品をご紹介します。関連行事/学芸員によるギャラリガイドツアー



奥田元宋・小由女合作《春陽清韻》2000年
奥田元宋・小由女美術館蔵

7月13日(土) 9月1日(日)

こどもミュージアム2024

「こどもあそび空間 プレイ・スカルプチャー」

彫刻家・真下賢一(鈴鹿大学こども教育学部准教授)は、子どものあそびを引き出す彫刻空間「プレイ・スカルプチャー」の制作を続けています。子どもたちはあそびの中から様々な能力を会得していきます。夏休みの美術館では、彫刻空間でのあそびや造形ワークショップを通して、あそび環境そのものの作品化を実践します。関連行事/こどもアートツアー、館内クイズラリー、ワークショップ



三重大学附属幼稚園の「プレイ・スカルプチャー」

10月12日(土) 11月24日(日)

特別展「生誕130年 武井武雄展
～幻想の世界へようこそ～」

「童画」という言葉を生み出し、今に続く児童文化の礎を築いた芸術家・武井武雄(1894～1983)。子どもの心に触れる絵の創造を目指し、表現の可能性を探索し続けて独自の創作世界を開拓していきました。

生誕130年を記念した本展では、普遍的な魅力を放ち続ける武井武雄の創作世界の全貌、時代を超えた広がり子どもたちに捧げた夢と希望と喜びを、武井がライフワークとして手がけた刊本作品を中心に紹介します。



関連行事/講演会、ワークショップ、学芸員によるギャラリガイドツアー

※10月12日(土)は
正午から一般公開。

武井武雄《暁曜日》1965年
イルファ画廊蔵

2025年1月25日(土) 3月16日(日)

企画展「中谷ミユキ展一語り合う静物」

広島県に生まれた中谷ミユキ(1900～1977)は、戦前から帝展や新文展・光風会展などで活躍し、文流美術家会に加入した後、1946年三岸節子らと文流画家協会を設立して会を牽引しました。

二紀会等にも出品を重ね、途中病を得ながらも生涯静物画を追求した画家の、没後初の本格的な回顧展です。



関連行事/講演会、ワークショップ、学芸員によるギャラリガイドツアー

中谷ミユキ
《静物》1974年
個人蔵

SCHEDULE

'24 4 5 6 7 8 9 10 11 12 '25 1 2 3

4月16日(火) 7月7日(日)

色彩の詩

「色彩が快い詩を唄ひださなくては絵画は軌道に乗らない」と語り、絵画を構成する要素のなかでも色彩の重要性を説いた節子。ときに黄色に執着し、ときに燃えるような朱に熱狂し、渋い茶や緑などに惹かれながら、色彩豊かな作品を生み出してきました。様々な色彩が奏でる節子の「詩」をお楽しみください。



三岸節子
《ブルゴーニュにて》
1989年
©MIGISHI

7月13日(土) 9月1日(日)

せつこさんのフランスだより

2024年はパリ五輪の開催年です。1954年の初渡欧、1968年から20年余りのフランス生活の間に描かれた作品を中心に紹介します。夏休み子ども向けに、旅するせつこさんと一緒に、絵画の世界を巡ります。



パリにて 1954年

9月7日(土) 11月24日(日)

知られざる人物画
節子の描いた美しい女性たち

絵のモチーフについて「対象が生き物だということがまだ気がかりです。静物のように静かに黙っていてくれない。生きた動物は困るのです。」と述べていた節子ですが、装丁画、雑誌の挿絵・表紙画には、数々の美しい女性や動物を描いています。これらの



作品を、人物を描いた稀少な油彩画とともに紹介し、節子の知られざる人物表現の魅力に迫ります。

三岸節子《室内》1942年
©MIGISHI

2025年
11月30日(土) 3月16日(日)

静物の時代

お気に入りの壺や花瓶など身近にあるモチーフを組みあわせ、洗練された造形感覚で多くの静物画を残した節子。独自の画面構成で高い評価を受けた1950年代の作品や、滞欧を経て帰国した晩年に手掛けた静物画を中心にをご紹介します。



三岸節子《花と魚》1952年 ©MIGISHI

2025年3月22日(土)～

ベスト・セレクション

三岸節子生誕120年を記念し、来館者の投票によって選ばれた作品20数点を展示します。

投票期間 2024年
4月16日(火)～12月27日(金)



三岸節子《さいたさいたさくらがさいた》1998年 ©MIGISHI